

THE ROTARY CLUB OF NAGOYA-CHIKUSA



WEEKLY

なごや ちくさ

題字 黒野 貞夫

名古屋千種ロータリークラブ
承認 1982年 8月24日
例会日 火曜日 12:30
例会場 愛知厚生年金会館
事務局 ☎763-5110
会長 黒須一夫
幹事 大口弘和
会報委員長 秋山茂則

ロータリーを楽しもう！
ENJOY ROTARY！

No. 8

1989～90年度 RI会長 ヒュー M.アーチャー

第350回例会 平成元年 8月29日(火) 晴

◇ “我等の生業”

◇ 出席報告

会員 61(59)名 出席 47名
出席率 79.66%
前回 8月22日 (修正出席率) 100%

◇ ビジター紹介

可児RC 佐藤 孝美君 他13名

◇ お誕生日祝福

堀江夫人(8/31)、小林夫人(9/3)、杉山夫人(9/3)、鈴木(理)夫人(9/5)

◇ ニコボックス

名古屋RC 西川 右近君 9月9日～20日まで中日劇場において「西川流 名古屋をどり」を行いますので、皆様是非ご覧下さい。

吾郷 正夫君 今日は、私の職業について、下手な話を聞いて下さい。

松居 敬二君 ホームクラブごぶさたしました。早退します。

加藤 大豊君 北海道夏期国体へ愛知県選手団の団長として行って来ます。

永井 正義君 よきパートナー北野さん、太田さんのおかげでゴルフ会で優勝しました。握りのゆうちゃらで嬉しさも半分なりました。

青山 敏郎君 直前会長・幹事慰労懇親会欠席致します。

杉山 貞男君 大変申し訳ありませんが、直前会長・幹事慰労懇親会欠席致します。夫人誕生日祝い。

西川 豊長君 直前会長・幹事慰労懇親会を欠席で申し訳ありません。

堀江 宏輝君、小林 明君、鈴木 理之君 夫人誕生日祝い。

◇ 大口幹事報告

1. 本日例会終了後、理事役員会を開催いたしますので、理事役員の方は2F橋の間にお集まり下さい。

2. 次回例会は早期例会の為、午前8時より松林寺にて開催いたしますので、お間違いの無いようご出席下さい。
3. 第276地区岡崎城南RCより認証状伝達式(11月17日)のご案内がきておりますので、出席希望の方は事務局までお申し込み下さい。
4. 9月12日例会は、例会場都合の為、松楓閣で開催いたします。

◇ 黒須会長挨拶

“愛知県の県民性”

愛知県の他の県とことなった県民性についてお話しします。

資料はNHK放送世論調査所のNHK全国県民意識調査であります。

この調査は昭和53年3月から5月にかけて行なわれ、調査内容としては郷土意識、生活意識、道徳観、宗教感情、政治意識、競争社会への順応、人間関係、趣味など100問について、47都道府県ごとに900人ずつの調査を行っております。

1) 県民意識

多くの名古屋人は中日新聞を読み、東海銀行に預金し、中日ドラゴンズを応援するといったように地元意識が強いといわれています。しかし、調査結果では名古屋人の郷土意識はあまり強くありません。県人だという気持ちをもつ県民は東京について少なく、大阪をさえ下まわっているといわれています。例えば東京では大阪べんを平気で使っている大阪出身の人が多いのに比べ、名古屋べんを使う人は少ないのはどうしたわけでしょうか。県民意識の順位は全国の47都道府県中44位、ギリから4番目だそうです。

2) 生活意識

暮らしむきは多少ゆとりがあるほうだが全

国4位であり、生活満足度の高い地域であります。

また愛知県の人々は貯蓄に熱心だといわれ、生活をきりつめて金や財産を残したい、今の世の中は金次第だという人は全国平均を上まわっております。一方、冠婚葬祭を派手にするといわれています。

3) 社会性政治意識

「今の世の中は大きな組織の力が強すぎて1人、1人の庶民は無力だ」と思っている人が全国で1位であります。また、学歴がなければ社会で認められないと考える人も全国的にみて多いといわれています。

本来主張すべきことでも、自分に不利になるときは黙っている、というように現実的な保身の姿勢をとる人が多いようです。

社会や政治は自分の力の及ばないところで動いているのだから、それに期待してもしかたないと考えるのでありましょうか。

現実的な生活姿勢を示すものに非政治的な考え方があります。「国の政治がどう変わろうと自分の生活に関係ない」という人が全国一でもあります。1つには政治には手を出すなどの名古屋商人の伝統が残っているためでありましょうか。

名古屋市という大都市をかかえているのにかわらず、はじめての人と会うのは気が重いという人見知り愛知のきわだった特徴であり、これはとくに開放的な隣県の静岡とは対照的であるといわれます。

これは都市と農村の違いでは説明できない独特な県民性でありましょう。

一方、国の政治にはあまり関心を示さないのに、身近な地域の政治には満足している人が多い。この柔軟な姿勢はその寛容な道徳感覚にみることが出来ます。暴力だけにはきびしいが、うそをつくこと、かけごとにはとくにゆるやかである特徴をもってあります。

以上のような調査結果ですが、私は東京から名古屋に赴任して28年、段々名古屋になじんできました。この結果は思いあたる点、違う点ではないかと思う点もあります。皆様いかがでしょうか。

◆講演

“私の職業について”

会員 吾郷 正夫 君



私は先般小林氏のご紹介に依り名古屋千種ロータリーに入会致す事に成り誠に幸せに存じて居ます。

これからは先輩の皆様のご指導に依り共に社会に貢献致したいと存じます。

私は山陰、鳥根県大田市に生まれ、旧性大田中学校卒業後地元身内の建設会社に就職しました。人生一度は大都会で自分の力を試してみたいと志し昭和38年に知人の紹介で名古屋に上京してまいりました。其後或る建設会社に入社し10年間に在職後自身で事業を志し昭和47年に現在の会社を設立し現在に至って居ります。

私共の職種は建築物新規及改修に依る内外塗装工事並びに各所防水と一部内装工事取扱って居ります。次に建築物の改修について私の経験に基き一言申し上げます。皆様のご参考になれば幸甚に存じます。

建物の寿命は半永久的と言われていたますが外装仕上材としてのセメント、リシン、樹脂リシン、エマルジョン塗料複層模様、吹付材等々では10年以上の寿命を有するものは少なく、また、これらのメンテナンス方法も未だ確立されていません。鉄部塗装はほぼ塗替のインターバル及び仕様が確立されていますが、これらでは短いもので3年、長いもので5年を限度として塗替が実施されて居ります。建築外装では現在その仕上材料が年々変化して来た為寿命のみきわめが、なされて居らず、ために塗替仕様が確立されてないのが現状です。建築外装では建物の美観もさることながらコンクリートの劣化、即ち中性化を防止し、コンクリート内部のアルカリ性を保持して内の鉄筋が錆びるのを防止する役目も持っています。この重要な役目を果している外装仕上材が劣化して放置されていることは建物自体の寿命を縮めていることと同じです。コンクリートの劣化は鉄の錆のようにははっきりと目に見えないために応々にして塗替がおろそかになっていると思います。皆様も今一度ご見当下さる事をお進めして話を終ります。

今週の言葉

初心忘るべからず

加藤 大豊

◇8月度理事役員会議題

1. 新入会員候補者承認の件
2. 会長エレクト選出案の件
3. 10周年記念準備委員の件
4. クラブ計画書の件
5. クラブアセンブリー(9月19日)の件
6. 国際奉仕委員長会議報告の件
7. 9月12日例会会場変更の件

◇次回例会(9月5日)

早朝例会

松林寺にてAM 8:00より

◇次々回例会(9月12日)

講演 “リノール酸過多は危険”

名古屋市立大学薬学部教授

奥山 治美 氏 (紹介 杉山君)

※ 松楓閣にてPM 12:30より